

明治三十八年四月

韓國豊阜會社經營、石油坑
区、關心在平壤領事より報告

外務省

豊島會社經營

明治三十一年四月七日接獲 警務局

公債第三〇號

生



四六九九

豊島會社經營、石油坑區關係件報告

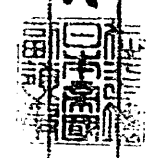
韓國皇室、直屬ト稱ル当地豊島會社ニ於テ着手ス
 江東郡化泉洞ノ石油坑付テハ当地ニ於テハ餘リ確的ノ評
 言ナキニ係ラス他地方ヲノ風説ニ性々我カ所聞ニ及ラスアリ
 現ニ一見其実ヲ舉ゲ得ヘキカキヲ説クモノアリ就テハ先月
 二十七日當館附巡查久保武吉ヲシテ各地及ヒ三登郡石
 炭坑ニ於テハ情况視察セシメ候處別紙通り復命致
 候全ク全坑区ハ目下ノ多シテハ單ニ米人カビノ一見テ
 以テ石油坑地トナスニ止ラスモ如シト雖モ全會社ハ既ニ石油
 石油其他、炭坑機械到着シ先ツ石油、炭坑ニ從事
 シ進次石油坑区及ホス計畫、由ニテ該復命書及全
 現ノ事實ハ時々可及報告係致員大

在外公館(平壤)

明治三十一年四月一日

在平壤公館主任

副領事 新庄 慎 貞



外務大臣男爵小村壽太郎殿

手書 (Handwritten notes)

復命書

命ニ依リ視察シタル江東郡化泉洞ニ於ケル石油坑五ニ三登郡土橋洞ニ於ケル石炭坑ノ状況ヲ復命スルコト左ノ如シ

一石油坑區ト稱スルハ平塚ヨリ三登郡ニ通スル本道上江東郡化泉洞(俗ニヨツトト呼バ)ニ在リ平塚ヲ距ルエト六里ト稱ス

該村落ノ附近ニ草間ニ於テ幅四五間ヲ有シ小豆色ヲ呈セル砂礫脈ノ露々ニ露出スルモノアルヲ見ル是即今ヨリ三年前采人加非魯

氏(今現ニ長ケ月四百元ヲ受ケテ)ガ視テ以テ石油坑脈ナリトセシモノエシテ或一部ヲ少シク掘開セントシタル

形跡アルモ土人之ヲ知ルモノ甚々稀ニ該村ノ執網カノ高ホ知ラサル程ナリ未ダ明ラカニ石油坑トシテ云フニ足ルモノナシト雖モ如上ノ砂礫脈ハ

凡ソ二十餘町ニ亘リテ露々ニ現ハレ居ルヲ見ルニ依リ果シテ之ガ石油坑脈ナリトセハ頗ル有望ナルベキヲ信ズ

目下採掘機械輸入中ニアリテ既ニ鎮南浦ニ到着シ居レリト云ハハ素カラスシテ其虚

一字挿入

實ヲ明ラカスルコトヲ得ベシ

尙加非魯氏ノ言ナリト云フヲ聞クニ化泉洞
ヲ中心トシテ東西南北各韓七里ニ亘リ採
堀ヲ試ムルニアサレハ何レノ地歟ガ果シテ石油坑
區ナリヤハ明言シ得スト云フ

二石炭坑ハ三登郡土橋洞ノ東方五六町ニ位
スル高サニ三百米突ニシテ起伏セル山脈ノ腰
部ニ在リ幅七八尺ヲ有スル一帯ノ礦脈ハ東
南ヲ北西ノ方向ニ亘ルニト凡ソ三十町ニ達ス
明治三十六年全シク加非魯氏ノ發見スル

所ニシテ韓政府ハ昨年中七ヶ月間ニ於テ經
費凡四十六萬兩ヲ投シ坑丈五十人ヲ以テ
採堀ヲ試ミタルモ冬季ニ際シ寒氣猛烈
且ツ機械不備等ノ故ニ依リ之ヲ中止シタリト
云ヒ目下ハ廢坑ノ姿ヲ呈シ居ルモ坑ノ深
サハ早ク既ニ五十尋ニ達シ其内部ニ於ケル
層サ六尺五寸長サ十三尺ノ坑道ハ十五層
ニ堀鑿セラレアリ維モ坑内汚水充溢シ居
ルヲ以テ其内容ヲ窺見スルコトヲ得サリキ
從來採堀セシモノハ無煙炭ナルモ尙二百尺

三層採堀

ヲ堀下セハ有煙炭ニシテ礦脈縱横ニ通シ從
テ多量ノ産額ヲ見ルニ至ルベシトハ加非魯氏
ノ言フ所ナリトテ開礦以來此地ニ在ル豊阜
會社ノ事務負梁柱原氏ハ語レリ

該炭坑ヨリ大同江ニ至ル距離ハ二十町余ニ
シテ通路ハ昨年十月頃牛車ノ通スル幅ニ修
築シ江岸ニ運搬ノ便ヲ取リトハ亦梁柱原氏
ノ云フ所ニシテ前項所述ノ石油採掘機械ト
共ニ本坑ノ機械モ亦南浦迄着シ居ルト云
ハハ幾何ナラスシテ其設備ヲ整フルト共ニ多

量ノ採掘高ヲ見ルニ至ルベキハ蓋シ疑ヒラ客
ルノ餘地ナカレベシ

右及復余候也

明治三十八年三月廿一日 巡查久保武吉

副領事新庄頌貞殿

追伸	第一項ニ述ハタル小豆色ノ砂礫	<small>(拾ニ本邦ニ於ケル未 同ノ固石ヲ粉砕シタル如シ)</small>
ハ三登郡ニ通スル本道上平懐ヲ距ル三里	新場ト云ヘル小市場ノ東北方十町許ニ	
一小山ノ間ニモ亦之ヲ見ルト雖モ鎮南浦領	事館ノ報告ニ係ル牛灘ノ附近ニ絶ヘテ	
斯ルモノアルヲ見サルノミナラス此邊山岳	カニナリ概シテ平野ニ屬ス亦土人ニテ	
ル石油坑ナトヲ耳ニシタルモノ絶ヘテアルコト	ナシ	
但シ牛灘ハ平懐ヲ距ル一二里二十余町		
大周江ノ左岸	<small>(下流ニ面シ テネフ)</small>	ニアル一山村ニ
トス		

14 a/

明治三十八年四月十四日發遣

明治三十八年四月十四日發遣

政務局長

主任

坂田

清海中央銀行

豊泉會社經營、石地坑、石地坑、石地坑

明治三十八年四月十五日發遣

外務省

豊泉會社經營、石地坑、石地坑、石地坑

在平壤新設の支店、石地坑、石地坑、石地坑

既設の支店、石地坑、石地坑、石地坑

石地坑、石地坑、石地坑、石地坑

石地坑、石地坑、石地坑、石地坑

別紙送付

天満

石地坑、石地坑、石地坑、石地坑

明治三十八年四月十四日發遣

46

豊泉會社

天

14
A.1

明治卅八年四月廿五日

長官

主官 政務



農商務省

送附 五九八八號

受案

送附

申すに、今般に二三の事、向より、
國を、平定するに、他は、
は、
は、
は、

明治三十八年四月廿五日

農商務大臣 男爵 清浦奎



外務大臣 男爵 青木

明治三十八年四月廿五日

3-1369

0179